

取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。

× 舟底天井

× さおぶち天井

× 格子天井

× 補強のない薄いつ天井
(ベニヤ板、石膏ボードなど)

× 簡単にたわむ天井

× 壁面

× 傾斜天井

不安定な場所

突出物や凹凸のある天井

1m

1m

照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です)

× ケースウェイに取り付けてある

× 埋込ローゼットの出しが10mm未満あるいは14mm以上

× 角型丸型引掛シーリングの出しが20mm未満あるいは24mm以上

× 破損しているぐらつきがある

× 端子

電源端子が露出している

× シーリングハンガーが付いている

× 凸部

凸部がある

各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。

配線器具 (付属していません)

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。

※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

本体裏側

スポンジ

端子

電源カバー

取り付け用付属品

スペーサー (角)

スペーサー (丸)

本体 (分解しないでください)

LEDカバー

つまみ

ロック解除ボタン (2か所)

シェード

付属品 (リモコン関連)

●リモコン: 1台

●リモコンホルダー: 1個

●単4形アルカリ乾電池: 2本

●ねじ: 2本

リモコン収納のしかた 乾電池の入れかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
※収納した状態で操作しないでください。

1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる

2 表示に合わせて⊕ ⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める

●電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで約1年です。付属の電池は動作確認用であり上記より早く消耗することがあります。

●電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。

●新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。

●長期間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

チャンネルの設定変更について

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON (入) になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。

リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。

※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が本体にも送られます。

照明器具に向けてください。

チャンネル2

チャンネル1

複数の照明器具がある場合

●1つのリモコンで操作する

複数の照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。

●別々のリモコンで操作する

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。

CH1

CH1

CH2

CH1

CH2

●注意

複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づけるなどして設定してください。

他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。
※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF (切) にしたり、間に扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

●必ず壁スイッチをOFF (切) にするか、電源を遮断してください。感電事故の原因となります。

●消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

1 水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。

送信部

中性洗剤

次のものは使用しない

ベンジン

シンナー

みがき粉

タワシ

スポンジの硬い面

●注意

絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

取り付け

警告 取り付けは必ず電源を遮断してから行ってください。

1 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

●注意 高所での作業になります。必ず足元の安全を確保してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。
電気店、または工事に依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出し	20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満				
角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット	埋込引掛ローゼット				
形状	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング	フル引掛シーリング	丸型フル引掛シーリング	埋込ローゼット (耳つき)	埋込ローゼット (耳なし)

＜側面図＞

天井からの出し

配線器具

外す

※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。

2 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)

※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合

丸型引掛シーリング・ローゼットの場合

3 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

4 本体を取り付ける

①本体中央のつまみをもち、のぞき窓から配線器具の(端子)差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。

②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。

③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン(「取り外し」参照)は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。
※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。

■スペーサー (角) の場合

本体の=印を、スペーサーの=印に合わせて差し込み、回します。

■スペーサー (丸) の場合

本体の=印を、スペーサーの=印に合わせて差し込み、回します。

5 シェードを取り付ける

①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。

②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。

●注意

本体を必要以上に回転させないでください。
引掛シーリングやローゼットが破損します。

●警告

シェードは確実に本体に取り付けてください。
落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。

※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

取り外し

警告

●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。

●消灯直後は本体や器具の中が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

2 本体を取り外す

①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押しながら、
②反時計回りに回して本体を外してください。

●注意

本体を片方の手で支えながら外してください。
器具の落下によるけがや破損の原因となります。

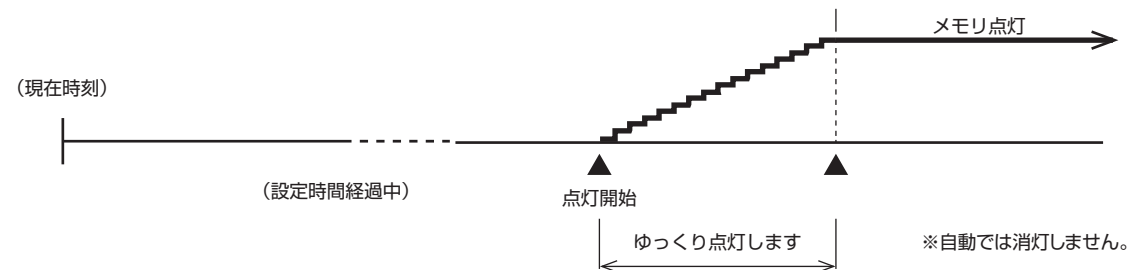
3 スペーサーを取り外す

●注意

本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

■点灯タイマーを使う

1回だけ、設定した時間にゆっくりと点灯します。



おしらせ

- 点灯タイマーは1回だけ動作(メモリ点灯)するものです。
るすばん機能のように自動消灯はせず、点灯したままになります。(るすばん機能も設定されている場合には、その消灯時刻に消灯します。)
- 点灯タイマーで点灯するか、解除されると、設定時間もリセットされます。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、点灯タイマーは解除されます。(設定時間もリセットされます。)
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。この範囲を超えた設定をしようとすると、設定前の時間のままビビッと音がして警告します。
※このときの設定時間は、1時間または24時間です。

注意

- 点灯タイマーとおやすみタイマーは、同時には使えません。どちらかあとから設定した方が動作します。
- 点灯タイマーで点灯した場合、消灯するには、リモコンで消灯してください。壁スイッチを切って消灯させることもできますが、このときはるすばん機能も解除されます。

設定方法

- 点灯タイマーを設定するときは、1分以内に設定を完了(点灯タイマーボタンをもう1回押す)しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 点灯タイマーボタンを1回押しただけでは動作しません。必ず時間を設定してから、もう1回押してください。
- 設定操作中に、点灯タイマー、明るい、暗い以外のボタンを押すと、点灯タイマーの設定を中止します。

①点灯タイマーボタンを1回押す

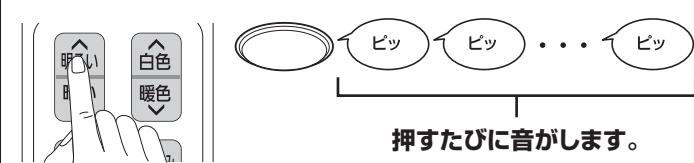
点灯タイマーを1回押す



点灯タイマーを設定する状態になります。

②明るいボタンを点灯タイマーで点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

明るいを、点灯させるまでの時間数と同じ回数つつけて押す



押し過ぎたときは、押し過ぎた時間数と同じ回数暗いボタンを押して戻すか、点灯タイマーボタンをさらに2回押して、②(本項目)から時間を設定しなおしてください。
※点灯タイマー、明るい、暗いボタン以外のボタンを押した場合は、点灯タイマーの設定を中止しますので、最初から設定しなおしてください。

押すたびに音がします。

③もう1回点灯タイマーボタンを押す

点灯タイマーを1回押す



点灯するまでの時間数と同じ回数の音がします。

ピーと音がしたあと、点灯するまでの時間数と同じ回数、ピッと確認のための音がして、設定が完了し、通常の状態に戻ります。

④常夜灯を点灯させるか、消灯ボタンを押して消灯させる

メモリ点灯/常夜灯を押す



常夜灯を点灯させます。

あるいは

消灯を1回押す



消灯させます。

解除方法

点灯タイマーボタンを長押しする

点灯タイマーを長押しする



ピッと音がして、しばらくしてからピーと音がすると、点灯タイマーが解除されます。



ECOHiLUX
エコハイルクス

LEDシーリングライト
CL8DL-MFM/MFU／CL12DL-MFM/MFU

共通取扱説明書

保管用

リモコン詳細編

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階(常夜灯は2段階)
調光範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

調光ボタン【明るい】

明かりを1段階明るくします。
長押しで連続調節できます。

調光ボタン【暗い】

明かりを1段階暗くします。
長押しで連続調節できます。
※常夜灯の明るさの調節
常夜灯の状態では調光ボタンを押して明るさを調節します。
常夜灯の明るさは記憶され、次に点灯したときは、記憶された明るさで点灯します。

■明るさと色を記憶させる

メモリ設定ボタン

設定した明るさと色を記憶させます。
ボタンを押すと、「ビビッ」と音がします。
メモリ点灯ボタンを押したり、壁スイッチを切り替えたりすると再現できます。
※常夜灯はメモリ設定はできません。

■明かりをつける

メモリ点灯/常夜灯ボタン

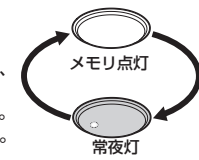
メモリに記憶させた明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。
ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※出荷時に記憶されている明かり(点灯状態)は全灯です。

全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

消灯ボタン

明かりを消灯させます。



■色を変える

シーリングライトの色を調節します。
※調色11段階
調色範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

調色ボタン【白色(昼光色)】

明かりを1段階ずつ白色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

調色ボタン【暖色(電球色)】

明かりを1段階ずつ暖色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

■タイマー機能を使う

※詳細は、「タイマーの使いかた」を参照してください。

おやすみボタン

就寝時などに1回だけ消灯できます。

るすばんボタン

留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します。

点灯タイマーボタン

起床時などに1回だけ点灯できます。

■シーンを切り替える

シーンボタン【読書】

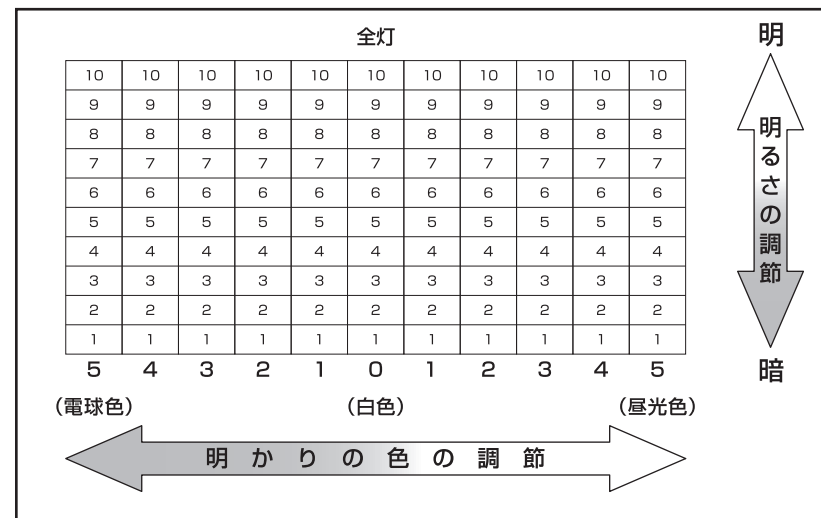
文字が読みやすい、昼白色相当の明かりで点灯します。

シーンボタン【食事】

暖かな、電球色相当の明かりで点灯します。

シーンボタン【くつろぎ】

明るさを抑えた、暖かな電球色相当の明かりで点灯します。



タイマーの使いかた

次の3つのタイマーがあります。

るすばん機能	おやすみタイマー	点灯タイマー
留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します	就寝時などに1回だけ消灯できます	起床時などに1回だけ点灯できます

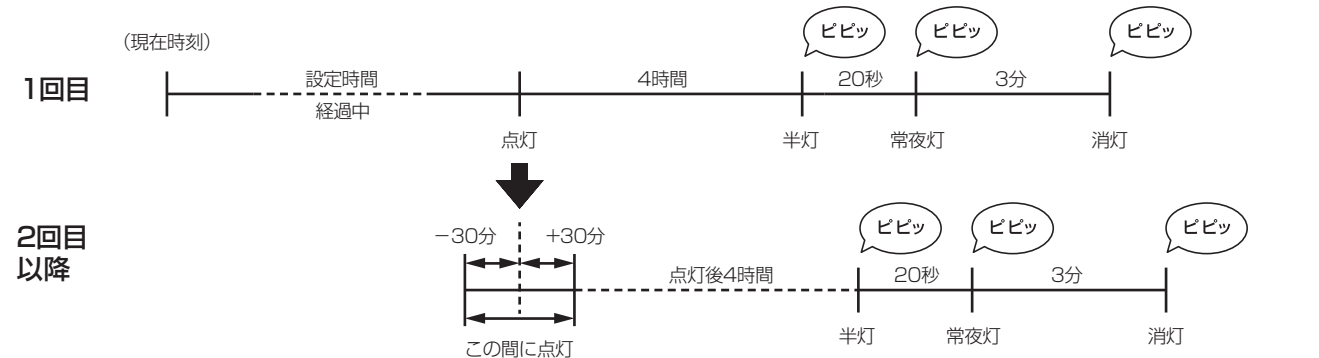
※ るすばん機能は他のタイマーと組み合わせて使えますが、おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時には使えません。

■るすばん機能を使う

毎日繰り返し、ほぼ24時間毎に1回メモリ点灯し、4時間後に消灯します。期間を決めて動作させることはできません。
2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります。

⚠ 注意

- 器具が自動で点灯・消灯しますので、留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。万が一被害にあわれても、責任は一切負いかねます。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- 全灯中やシーン点灯中になるすばん機能による点灯時刻になったときは、メモリ点灯には変わらずに、そのままの状態 で点灯し続けます。
- るすばん機能より、おやすみタイマーあるいは点灯タイマーの設定が優先されます。
- 製品の仕様上、長期間るすばん機能を使うと点灯・消灯時間が大きくずれる場合があります。1週間ごとの再設定をおすすめします。



※半灯とは、現在点灯している明るさの、約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在、最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。
※常夜灯点灯中に消灯するときはビビッと音がしてお知らせすると共に、常夜灯(3分)→消灯と段階的に変化します。
※消灯したくない場合は、変化しているときに好みの点灯状態にしてください。

設定方法

おしらせ

- るすばんボタンを1回押しただけでは動作しません。必ず、時間を設定してから、もう1回押してください。
- るすばん機能を設定するときは、1分以内に設定を完了(るすばんボタンをもう1回押す)しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。この範囲を超えた設定をしようとすると、設定前の時間のままビビッと音がして警告します。(このときの設定時間は、1時間または24時間です。)
- 設定操作中に、るすばん、明るい、暗い以外のボタンを押すと、るすばん機能の設定を中止します。

①るすばんボタンを1回押す

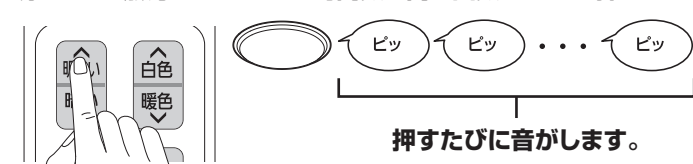
るすばんを1回押す



るすばん機能を設定する状態になります。

②明るいボタンをるすばん機能で点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

明るいを、点灯させるまでの時間数と同じ回数つづけて押す



押し過ぎたときは、押し過ぎた時間数と同じ回数暗いボタンを押して戻すか、るすばんボタンをさらに2回押して、②(本項目)から時間を設定しなおしてください。
※るすばん、明るい、暗いボタン以外のボタンを押した場合、るすばん機能の設定を中止しますので、最初から設定しなおしてください。

③もう1回、るすばんボタンを押す

るすばんを1回押す



点灯するまでの時間数と同じ回数の音がします。

るすばんボタンを押すと、ビーと音がしたあと、点灯するまでの時間数と同じ回数、ビッと確認のための音がして、設定が完了し、通常の操作状態に戻ります。

解除方法

るすばんボタンを長押しする

るすばんを長押しする



ビッと音がして、しばらくしてからビーと音がすると、るすばん機能が解除されます。

⚠ 注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- るすばん機能が解除されると、設定時間(2回目以降は設定時刻)もリセットされます。

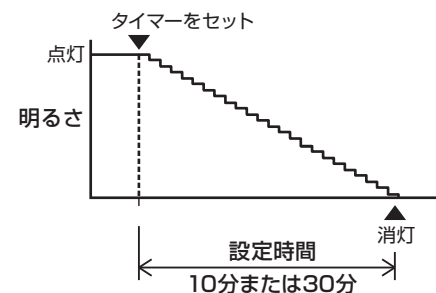
■おやすみタイマーを使う

設定後徐々に暗くなり、設定時間(10分または30分)で消灯します。

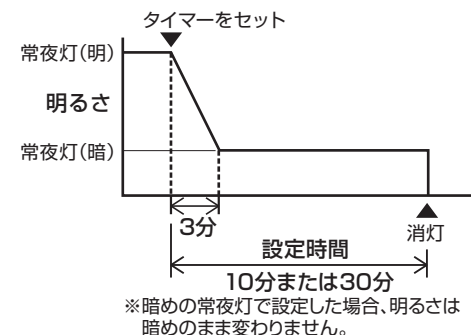
注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時には使えません。どちらかあとから設定した方が動作します。
- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯するには、リモコンで点灯してください。壁スイッチを短く(1秒以内)入切させて点灯させることもできますが、このときはるすばん機能も解除されます。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



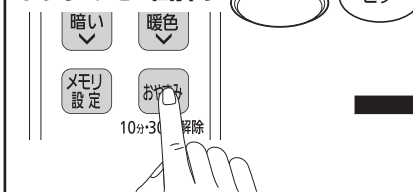
〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉



設定方法

おやすみタイマー10分：おやすみボタンを1回押す

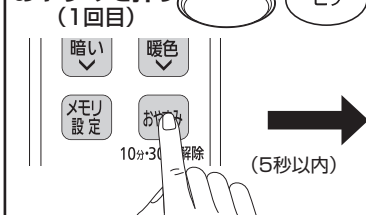
おやすみを1回押す



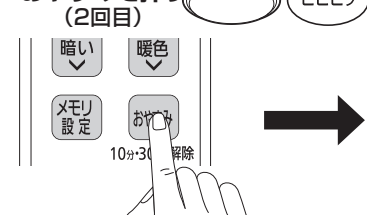
おやすみタイマーが10分に設定され、スタートします。

おやすみタイマー30分：おやすみボタンを2回押す

おやすみを押す(1回目)



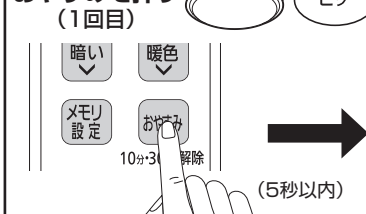
おやすみを押す(2回目)



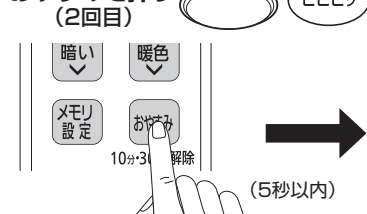
おやすみタイマーが30分に設定され、スタートします。

おやすみタイマー解除：おやすみボタンを3回押す

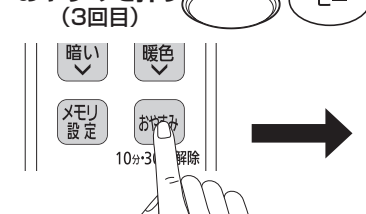
おやすみを押す(1回目)



おやすみを押す(2回目)



おやすみを押す(3回目)

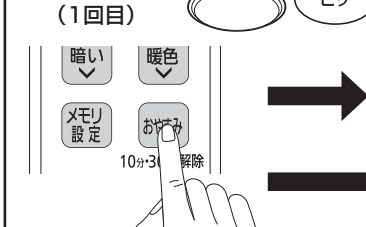


おやすみタイマーが解除されます。

メモリ設定ボタン、おやすみボタン以外のボタン(調光ボタン、全灯ボタンなど)を押してもおやすみタイマーは解除されます。

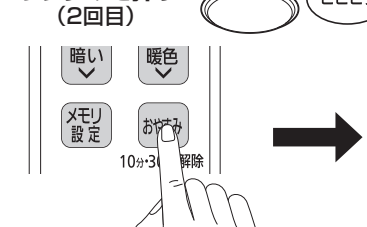
おやすみタイマー再設定：おやすみボタンを1回または2回押す

おやすみを押す(1回目)



おやすみタイマーが10分に設定され、スタートします。

おやすみを押す(2回目)



おやすみタイマーが30分に設定され、スタートします。

おやすみタイマーの動作中に再設定する場合は、もう一度おやすみタイマーボタンを押して時間を設定してください。
おやすみタイマー設定前の明るさに戻り、設定された時間で徐々に消灯します。